Panasonic®

取扱説明書 Operating Instructions
ワイヤレス オーディオキット
Wireless Audio Kit

品番 SH-FX570R
SH-FX570K

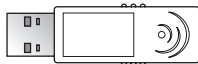
本書では FOMA P903i との接続を説明していますが、FOMA P902iS、P902i、P903iTV ともオーディオ接続が可能です。
上記以外の Bluetooth 機能対応携帯電話との動作については保証していません。

イラストは SH-FX570K です。

保証書別添付

Bluetooth®

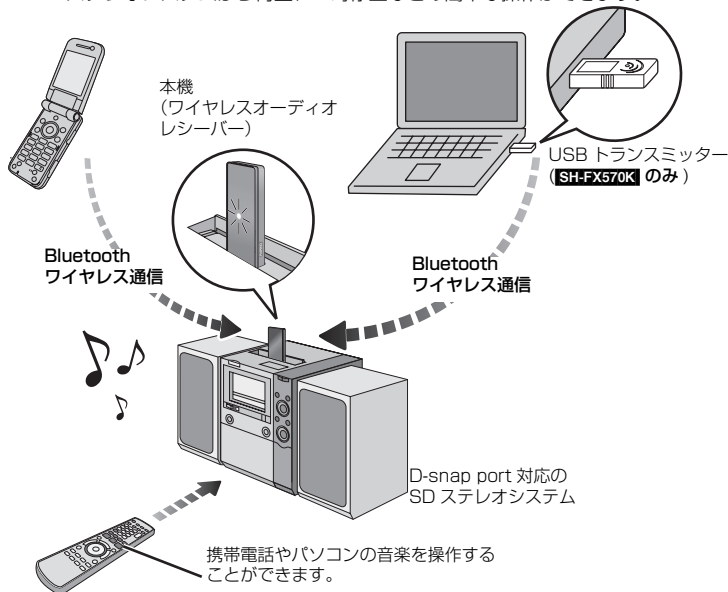
このたびは、“パナソニック製品”をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。

- 取扱説明書をよくお読みのうえ、正しく安全にお使いください。
- **ご使用前に「安全上のご注意」（☞22 ～ 25 ページ）を必ずお読みください。**
- 保証書は「お買い上げ日・販売店名」などの記入を確かめ、取扱説明書とともに大切に保管してください。

RQT8940-S

本機でできること

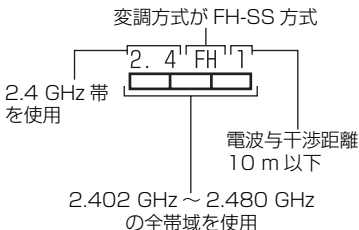
SH-FX570R：携帯電話の音楽を Bluetooth ワイヤレス通信機能を使って本機を接続した D-snap port 対応の SD ステレオシステム（SC-PM770SD、SC-NS550SD など）で聴くことができます。また、SD ステレオシステムから再生、一時停止などの簡単な操作ができます。

SH-FX570K：SH-FX570R の機能に加え、付属の USB トランスミッターを使用することによりパソコンの音楽を D-snap port 対応の SD ステレオシステム（SC-PM770SD、SC-NS550SD など）で聴くことができます。また、SD ステレオシステムから再生、一時停止などの簡単な操作ができます。

目次

ワイヤレス機能（Bluetooth® 機能）使用について

Bluetooth（ブルートゥース）とは .....
電子機器同士をワイヤレス（無線）でつなぐことにより、ケーブルを使用することなく通信できる技術のことです。

■使用周波数帯
本機は 2.4 GHz 帯の周波数帯を使用しますが、他の無線機器も同じ周波数を使っていることがあります。他の無線機器との電波干渉を防止するため、右記事項に注意してご使用ください。

■周波数表示の見かた（定格銘板に記載）

この機器の使用周波数帯では、電子レンジなどの産業・科学・医療用機器のほか工場の製造ラインなどで使用されている移動体識別用の構内無線局（免許を要する無線局）および特定小電力無線局（免許を要しない無線局）が運用されています。

1 この機器を使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局および特定小電力無線局が運用されていないことを確認してください。
2 万一、この機器から移動体識別用の構内無線局に対して電波干渉の事例が発生した場合には、速やかに場所を変更するか、または電波の発射を停止した上、下記連絡先にご連絡いただき、混信回避のための処置など（たとえば、パーティションの設置など）についてご相談してください。
3 その他、この機器から移動体識別用の特定小電力無線局に対して電波干渉の事例が発生した場合など何かお困りのことが起きたときは、次の連絡先へお問い合せください。

連絡先：　**松下電器産業株式会社**
ナショナル パナソニック
お客様ご相談センター
（29 ページ参照）

■機器認定

本機およびトランスミッターは、電波法に基づく技術基準適合証明を受けていますので、無線局の免許は不要です。ただし、本機に以下の行為を行うと法律で罰せられることがあります。

- 分解／改造する。
- 本機裏面に貼ってある定格銘板をはがす。

■使用制限

- 日本国内でのみ使用できます。
- 全ての Bluetooth 機能対応携帯電話とのワイヤレス通信を保証するものではありません。
- ワイヤレス通信する Bluetooth 機能対応携帯電話は、The Bluetooth SIG, Inc. の定める標準規格に適合し、認証を受けている必要があります。ただし、標準規格に適合している携帯電話であれば、一部動作することはありますが、携帯電話の仕様や設定により、接続できない場合があり、操作方法・表示・動作を保証するものではありません。
- Bluetooth 標準規格に準拠したセキュリティ機能に対応しておりますが、使用環境および設定内容によってはセキュリティが十分でない場合があります。ワイヤレス通信時はご注意ください。
- ワイヤレス通信時に発生したデータおよび情報の漏洩について、当社は一切の責任を負いかねますのでご了承ください。

■使用可能距離

見通し距離約 10 m 以内で使用してください。間に障害物や近くに干渉機器がある場合や、人が間に入った場合、周囲の環境、建物の構造によって使用可能距離は短くなります。上記の距離を保証するものではありませんのでご了承ください。

■他機器からの影響

- 本機およびトランスミッターとの距離が近いと電波干渉により、正常に動作しない、音飛びや雑音が発生するなどの不具合が生じる可能性があります。機器により以下の距離を保って使用することをおすすめします。
  電子レンジ／ワイヤレス LAN … 約 5 m 以上
  電気製品／ AV 機器／ OA 機器／
  デジタルコードレス電話機／
  ファックスなど ……………… 約 2 m 以上
- 放送局などが近くにあり周囲の電波が強すぎると、正常に動作しないことがあります。
- ワイヤレス LAN 内蔵のノート型パソコンなどでは、ワイヤレス LAN の機能と USB トランスミッターを同時に使用しないでください。
- ワイヤレス LAN を約 5 m の距離を保って使用していても、ノイズや音切れが発生する場合は、ワイヤレス LAN の電源を切ってください。

■用途制限

本機およびトランスミッターは一般用途を想定したものであり、ハイセイフティ用途※での使用を想定して設計・製造されたものではありません。ハイセイフティ用途に使用しないでください。

※以下のような、きわめて高度な安全性が要求され、直接生命・身体に重大な危険性を伴う用途のことを言います。
例）原子力施設における核反応制御／航空機自動飛行制御／航空交通管制／大量輸送システムにおける運行制御／生命維持のための医療機器／兵器システムにおけるミサイル発射制御など

ご確認ください

はじめにお読みください

本機（ワイヤレスオーディオレシーバー）をご使用いただくためには、以下の D-snap port 対応機器が必要です。

対応機種： SC-PM770SD※（SD ステレオシステム）
SC-NS550SD※（SD ステレオシステム）

- 本機は SC-SX850、SC-SX450 には対応していません。

（対応機種は 2007 年 1 月現在のものです。）
※ 2007 年 4 月発売予定

本書では、FOMA P903i と接続して使用する方法を説明しています。

- FOMA P903i 以外の本機指定の Bluetooth 機能対応携帯電話と機器登録する場合は、機器登録したい携帯電話の取扱説明書に従ってください。

- 本機を使用して音楽を聴くには、携帯電話が下記の Bluetooth バージョンに対応していることが必要です。
  - ・Bluetooth 標準規格 Ver.1.1 または 1.2
- 本機を使用して音楽を聴くには、携帯電話が下記の Bluetooth プロファイルに対応していることが必要です。
  - ・Advanced Audio Distribution Profile (A2DP)
  - ・Audio/Video Remote Control Profile (AVRCP)
- 携帯電話の仕様や設定により、接続できない場合や、操作方法・表示・動作が異なる場合があります。Bluetooth 機能について、詳しくは 4、5 ページをご覧ください。
- 本機と携帯電話が近くにあっても電波の状態によっては、音が途切れたり雑音が入ったりする場合があります。
- 対応 Bluetooth バージョン、対応 Bluetooth プロファイルは 2007 年 1 月現在のものです。

本機を接続した機器から出力される音声について

本機と FOMA P903i をワイヤレス通信状態にしているときに、本機を接続した機器から出力される音声は、以下のようになります。

		接続しているサービス
		A2DP※
音声電話発信音		×
音声電話・テレビ電話着信音		×
音声電話・テレビ電話時の呼び出し音		×
音声電話・テレビ電話時の相手の音声		×
音声電話時の相手の伝言メモの音声		×
プッシュトーク発信音		×
プッシュトーク着信音		×
プッシュトーク時の相手の音声		×
メール・メッセージ（R ／ F）着信音	通知優先	×
	操作優先	×
サイトからのｉモーション再生音		×
ｉアプリ効果音		×
ｉモーション再生音		○
着うた®／着うたフル®再生音		○
SD オーディオ再生音		○
アラーム通知音	通知優先	×
	操作優先	×
電池切れアラーム		×

○：本機を接続した機器から出力されます。

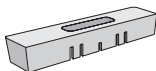
×：本機を接続した機器からは出力されず、携帯電話から鳴ります。

※ A2DP：　オーディオサービス（Advanced Audio Distribution Profile）

付属品

付属品をご確認ください。

品番は、2007 年 1 月現在のものです。
変更されることがあります。

□ D-snap port アジャスタ（RFE0194）

SH-FX570K のみ

□ CD-ROM

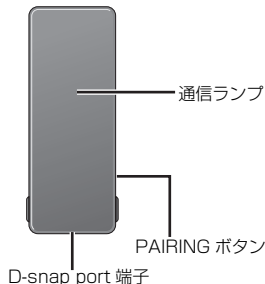
付属品は販売店でお買い求めいただけます。
松下グループのショッピングサイト「パナセンス」でもお買い求めいただけるものもあります。
詳しくは「パナセンス」のサイトをご確認ください。

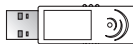
Pana Sense

http://www.sense.panasonic.co.jp/

各部の名前

本書では、ワイヤレスオーディオレシーバーを「本機」、USB トランスミッターを「トランスミッター」と表記しています。

SH-FX570R
（ワイヤレスオーディオレシーバー）

SH-FX570K のみ

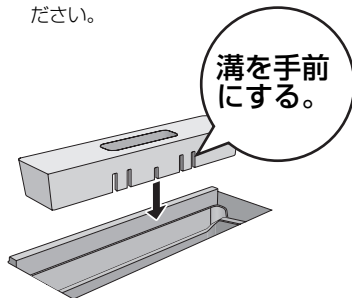
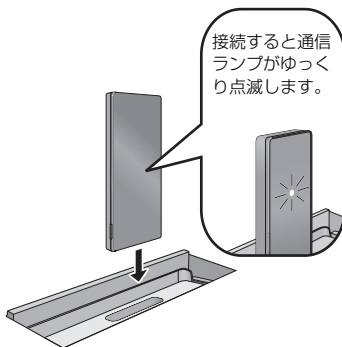
SH-FX550T
（USB トランスミッター）

- トランスミッターはパソコンの音楽を本機を接続した機器で聴く（☞20 ページ）場合に使用します。
- パソコンで使用するためには、Bluetooth ソフトウェアのインストール（☞14 ページ）をしてください。

本機を取り付ける

本機を SD ステレオシステム（SC-PM770SD、SC-NS550SD）の D-snap port 端子に接続します。本書では SD ステレオシステムを 「接続機器」と表記しています。

❶ 接続機器の [▶ D.port] を押して、セレクターの表示を D-snap port（D.port）に合わせる

❷ 付属の D-snap port アジャスタを接続機器に取り付ける

凹部、凸部を接続機器に合わせてください。

❸ 本機を端子に合わせてまっすぐ奥までしっかり装着する

- 接続するときは必ず付属の D-snap port アジャスタを接続機器に取り付けてください。
- D-snap port の入出力信号はアナログ信号です。
- 本機を長時間使用しないときは、接続機器から外しておいてください。

本機を FOMA P903i とワイヤレス通信するとき（☞10 ～ 13 ページ）

SH-FX570K のみ

本機をパソコンとワイヤレス通信するとき（☞14 ～ 21 ページ）

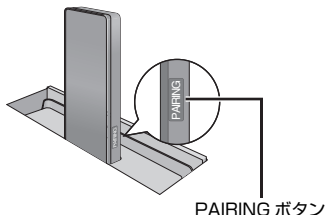
本機と FOMA P903i を機器登録する

本機と FOMA P903i との機器登録 （ペアリング）

準備：本機を D-snap port 対応機器に取り付ける。（☞9 ページ）

❶ 本機の通信ランプがゆっくり点滅していることを確認する

❷ 本機の右横にある PAIRING ボタンを通信ランプが速く点滅するまで押したままにする

本機がペアリング待機状態になりました。

❸ FOMA P903i で以下の操作を行い、約5分以内に登録する

1 (メニュー) ▶ LifeKit ▶ Bluetooth ▶ 登録機器リスト

2 (✉)（サーチ）を押す

携帯電話の周辺にある Bluetooth 機器を探します。本機を見つけると、「SH-FX570R」と表示されます。

3 SH-FX570R を選択 ▶ YES ▶ 端末暗証番号（携帯電話の暗証番号）を入力

4 Bluetooth パスキー※のテキストボックスを選択 ▶「0000」を入力 ▶ 確定

※ Bluetooth 機能対応機器同士が、互いの機器を認証するために使用する番号のことで、各メーカー、各機器により、名称は異なります。本機の場合は「0000」（ゼロ４個）です。

登録が完了すると、本機の通信ランプが約１秒間点灯し、そのあとゆっくり点滅します。

- 本機と携帯電話は、できるだけ近づけて登録してください。
- このままオーディオサービス※で接続を行うときは、手順❸－4のあと、「オーディオ」を選択します。次ページの操作ですぐに携帯電話の音楽を聴くことができます。

※音楽を本機を接続した機器で聴けるようにするサービスです。

ペアリング待機状態の解除

ペアリング待機状態のとき、PAIRING ボタンをもう一度押すとペアリング待機状態が解除され、通信ランプがゆっくり点滅します。

オーディオサービスでの接続

機器登録した本機と FOMA P903i をオーディオサービスで接続します。

❶ 本機の通信ランプがゆっくり点滅していることを確認する

❷ FOMA P903i で以下の操作を行う

1 (メニュー) ▶ LifeKit ▶ Bluetooth ▶ 登録機器リスト

2 SH-FX570R を選択 ▶ オーディオを選択

本機と携帯電話が、オーディオサービスで接続された状態になります。

オーディオサービスを切断するとき

❶ (メニュー) ▶ LifeKit ▶ Bluetooth ▶ 登録機器リスト

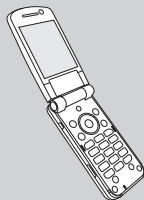
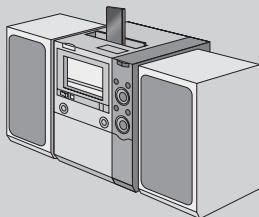
❷ SH-FX570R を選択 ▶ オーディオを選択 ▶ Yes

❸「サービスを停止しますか？」で Yes を選択

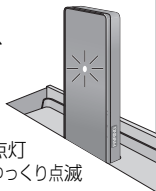
携帯電話の音楽を聴く

携帯電話の音楽を再生する

前ページの操作を行うと携帯電話と本機がオーディオサービスで通信接続できる状態になります。そのまま以下の操作を行ってください。携帯電話の取扱説明書も合わせてご覧ください・

❶ **携帯電話で音楽を再生する**

❷ **接続機器の音量を調整する**

- 携帯電話をポケットや鞄に入れた状態で本機を利用する場合、ポケットや鞄の位置、携帯電話の向きによっては雑音が入ったり音声が途切れたりすることがあります。
- 本機を接続した機器から、メールやメッセージ（R ／ F）の着信音やプッシュトークの着信音、アラーム通知音や電池切れアラーム音は鳴りません。また、音楽を本機を接続した機器から再生中に以上のことが起きると、本機を接続した機器からの音楽は停止しますので、音楽が停止した場合は、携帯電話を確認してください。
  このとき、オーディオサービスが切断される場合があります。
  その他、本機を接続した機器から出力される音声については、7 ページをご覧ください。
- 以下のときは、音楽再生が停止します。
  - ・音楽再生中に電話着信したとき
  - ・音楽再生中にメールやメッセージ（R ／ F）を受信したとき

  接続機器の［▶ D.port］を 1 回押すと、自動停止したところから音楽再生が再開されます。

  使用環境などによってはオーディオサービスが切断される場合があります。
  音楽再生を再開したいときは、11 ページ「オーディオサービスでの接続」の手順で接続し直してください。

● 以下のときは、オーディオサービスが切断されます。

・音楽再生中の着信に応答し、約 10 分経過後に通話を終了したとき
・携帯電話が音楽再生以外の状態で、約 10 分以上経過したとき

音楽再生を再開したいときは、11 ページ「オーディオサービスでの接続」の手順で接続し直してください。

音楽再生時のボタンと動作

接続機器から FOMA P903i に以下の操作が行えます。

再生

▶ D.port	停止、または一時停止状態のとき、押す

停止

■	押す

一時停止

▶ D.port	再生中に、押す

とび越し（スキップ）

▶▶|（進む） |◀◀（戻る）	押す

● 着うたフル®、SD オーディオ再生中に前曲に戻るには、［|◀◀］を 2 回続けて押す。
● 着うた®、ｉモーション再生中に前曲に戻るには、［|◀◀］を 1 回押す。

携帯電話の音楽を聴く

Bluetooth ソフトウェアをインストールする

動作環境

トランスミッターをご使用いただくためには、以下のような条件を満たした IBM PC/AT、およびその互換機が必要です。

対応 OS（日本語版）：
Microsoft® Windows® 2000 Professional（SP4）
Microsoft® Windows® XP　Home Edition（SP2）
Microsoft® Windows® XP Professional（SP2）

推奨インストール条件：
CPU（Clock）：1GHz 以上
メモリ容量：512MB 以上
ハードディスク：100 MB 以上の空き容量

必要なハードウェア
CD-ROM ドライブ(インストール時に必要)
USB 端子
(USB ハブおよび USB 延長ケーブルで接続した場合の動作は保証していません。)

必要なソフトウェア
Windows Media Player 7.1 以降のバージョン

（動作環境は 2007 年 1 月現在のものです。）

Windows Vista™ 対応についてのお知らせ：
Bluetooth ソフトウェアの Windows Vista™ 対応情報については、下記の URL をご覧ください。

http://panasonic.jp/support/

- 推奨環境のすべてのパソコンについて動作を保証するものではありません。
- NEC PC-98 シリーズとその互換機での動作は保証していません。
- Macintosh には対応していません。
- 左記対応 OS 以外の Windows 環境での動作は保証していません。
- OS のアップグレード環境での動作は保証していません。
- マルチブート環境での動作は保証していません。
- システム管理者権限（Administrator）のユーザーのみで使用可能です。
- お客様が自作されたパソコンでの動作は保証していません。
- 64 ビット OS 搭載のパソコンでの動作は保証していません。
- 他のソフトウェアが同時に起動している場合はこの限りではありません。
- 言語設定を OS 言語以外に変更しているパソコンでの動作は保証していません。
- Bluetooth 機能が内蔵されているパソコンには、このソフトウェアをインストールしないでください。正常に動作しなくなることがあります。
- 動作保証対応 OS（言語）以外のパソコンでの動作は保証していません。

Bluetooth ソフトウェアのインストール

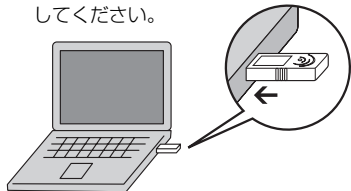
- Bluetooth 機能が内蔵されているパソコンには、このソフトウェアをインストールしないでください。正常に動作しなくなることがあります。
- インストールの途中でトランスミッターを接続する指示があります。それまでトランスミッターを接続しないでください。
- インストールの前に、他に起動しているアプリケーションをすべて終了してください。

❶ パソコンの電源を入れ、Windows を起動する

❷ 付属の CD-ROM を CD-ROM ドライブに入れる

- インストーラーが自動的に起動します。
- 画面の指示に従って操作してください。

❸ トランスミッター接続の指示が表示されたら、パソコンの USB 端子にトランスミッターを接続する

[Bluetooth デバイス※を取り付けてから「OK」ボタンをクリックしてください。] のメッセージが表示されたら、パソコンの USB 端子にトランスミッターを接続してください。

※ここでの「Bluetooth デバイス」とは、トランスミッターのことです。

❹ <インストールの完了画面> で［完了］をクリックする

パソコンを再起動すると、インストールが完了します。

条件によっては、インストールに 15 分以上かかることもあります。

インストーラーが自動的に起動されない場合は・・・

1 Windows のスタートメニューで「ファイル名を指定して実行」をクリックする

2 ［※ : ¥setup.exe］と入力し、［OK］をクリックする

- 以下、画面の指示に従って続けてください。
- ※は CD-ROM ドライブの ID です。
- ここで入力する文字は、大文字・小文字のどちらでもかまいません。

Bluetooth ソフトウェアのインストールが完了した後、再度 CD-ROM を CD-ROM ドライブに入れると、アンインストーラーが起動します。ソフトウェアを削除したい場合は、画面の指示に従って操作してください。

本機とトランスミッターを機器登録する

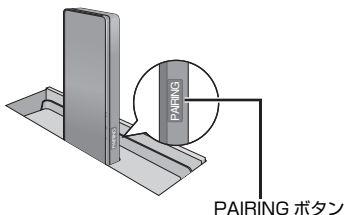
本機とトランスミッターとの機器登録（ペアリング）

パソコンにBluetoothソフトウェアをインストールしたあと、本機とトランスミッターを機器登録（ペアリング）します

準備：本機をD-snap port対応機器に取り付ける。（☞9ページ）

❶ 本機の通信ランプがゆっくり点滅していることを確認する

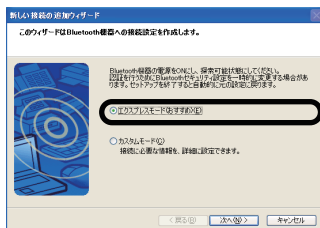
❷ 本機の右横にあるPAIRINGボタンを通信ランプが速く点滅するまで押したままにする

本機がペアリング待機状態になりました。

❸ パソコンで以下の操作を行い、約5分以内に登録する

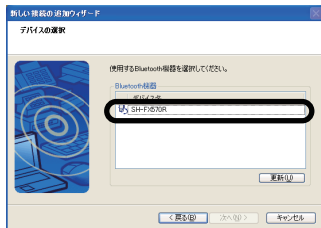
1「スタート」メニューで、「すべてのプログラム」→「Bluetooth」→「Bluetooth設定」の順にクリックし、「新しい接続」から「新しい接続の追加ウィザード」※を起動する

※登録されている機器がないときは自動的に起動します

2 接続設定作成モードで「エクスプレスモード（おすすめ）」を選択する

必要な接続サービスが自動的に設定されます。

3「次へ」を選択する

Bluetooth 機器の探索モードになり、トランスミッターの周辺にある Bluetooth 機器を探します。
本機を見つけると、「SH-FX570R」と表示されます。
「SH-FX570R」と表示されないときは、「更新」を押すか、「戻る」を押して前の画面からやり直してください。

4「SH-FX570R」を選択する

5 Bluetooth パスキー※のテキストボックスを選択し、「0000」を入力する

※ Bluetooth 機能対応機器同士が、互いの機器を認証するために使用する番号のことで、各メーカー、各機器により、名称は異なります。本機の場合は「0000」(ゼロ 4 個)です。

登録が完了すると、本機の通信ランプが約 1 秒間点灯し、そのあとゆっくり点滅します。

● 本機とトランスミッターは、できるだけ近づけて登録してください。

ペアリング待機状態の解除

ペアリング待機状態のとき、PAIRING ボタンをもう一度押すとペアリング待機状態が解除され、通信ランプがゆっくり点滅します。

本機とトランスミッターを通信接続する

Bluetooth ソフトウェアを起動する

Bluetooth ソフトウェアは常駐アプリケーションです。インストール後はパソコンの電源を入れると、自動的に起動します。

任意で起動する場合：
「スタート」メニューで「すべてのプログラム」→「Bluetooth」→「Bluetooth 設定」の順にクリックする

Bluetooth 設定

Bluetooth 設定について

- パソコンの「Bluetooth 設定」の「Bluetooth」タブの「オプション」でトランスミッターの初期設定値を変更することは可能ですが、その場合の動作は保証していません。

Bluetooth Manager アイコンの色表示について

パソコンのタスクバーに収納されている Bluetooth アイコン（）は、状態によって色が変化します。

- 緑色　正常に通信接続されている場合
- 白色　通信接続がされていない場合
- 赤色　トランスミッター が USB 端子に接続されていない場合
トランスミッター が正常に認識されていない場合

パソコンの状態によっては・・・

- 他のアプリケーションを動作させている場合など、パソコンの動作負荷が重い場合、音が途切れたり、接続機器の操作反応が遅くなることがあります。
- DVD などの音声を本機を接続した機器で聴く場合、通信環境またはパソコンの状態によっては、映像と音声にタイムラグが生じることがあります。

本機とトランスミッターとの通信接続

機器登録した本機とトランスミッターを通信接続します。

❶ **本機の通信ランプがゆっくり点滅していることを確認する**

❷ **パソコンの「Bluetooth 設定」を開く（☞18 ページ）**

❸ **SH-FX570R をダブルクリック、または右クリックのメニューから「接続」を選択すると、通信接続されます**

● 本機とパソコンがオーディオサービス※1、リモコンサービス※2 で通信接続された状態になります。

※1 音楽を本機を接続した機器で聴けるようにするサービスです。

※2 パソコンや携帯電話の音楽を接続機器のリモコンで操作できるようにするサービスです。

通信接続を切断するとき

❶ **パソコンの「Bluetooth 設定」を開く（☞18 ページ）**

❷ **SH-FX570R を右クリックして、メニューから「切断」を選択する**

❸ **「はい」を選択すると、通信接続が切断されます**

通信接続時の状態

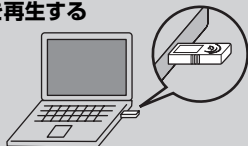
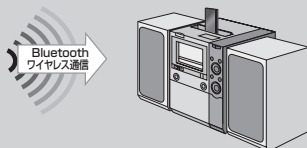
	通信接続状態	通信未接続状態
アイコン（パソコン）	SH-FX570R	SH-FX570R
通信ランプ（本機）	点灯	ゆっくり点滅

パソコンの音楽を聴く

パソコンの音楽を再生する

パソコンから音楽を再生する方法（Ⓐ）と接続機器から音楽を再生する方法（Ⓑ）の2通りあります。前ページまでの操作を行うと、トランスミッターと本機がオーディオサービスとリモコンサービスで通信接続された状態になります。そのまま Ⓐ または Ⓑ の操作を行ってください。

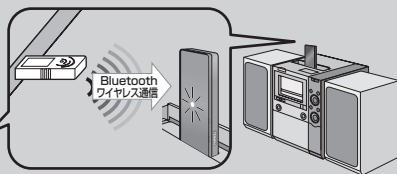
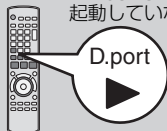
Ⓐ パソコンから Windows Media Player の音楽を再生する

❶ Windows Media Player で音楽を再生する

❷ 接続機器の音量を調整する

Ⓑ 接続機器から Windows Media Player の音楽を再生する

❶ 接続機器の［▶ D.port］を押す

通信接続※1 され、Windows Media Player が起動※2 し、音楽が再生されます。

※1 通信接続していないとき
※2 Windows Media Player が起動していないとき

❷ 接続機器の音量を調整する

- 通信接続していないときや、Windows Media Player が起動していないときなどにおいては音楽再生までに時間がかかることがあります。
- 前に演奏した曲から再生が始まります。Windows Media Player の初回起動時や、曲が選択されていない状態など、使用環境などによっては自動的に再生が始まらない場合があります。
- 携帯電話との通信接続を切断してパソコンと通信接続するときは、接続機器から通信接続できません。パソコンから通信接続を行ってください。（☞19 ページ）

音楽再生時のボタンと動作

接続機器から Windows Media Player に以下の操作が行えます。

Windows Media Player の起動

▶ D.port	Windows Media Player が起動していないとき、押す

- Windows Media Player が起動して、前に演奏した曲から再生が始まります。使用環境などによっては自動的に Windows Media Player が起動しない場合や、自動的に再生が始まらない場合があります。
- 接続機器から Windows Media Player を終了させることはできません。

再生

▶ D.port	停止、または一時停止状態のとき、押す

停止

■	押す

一時停止

▶ D.port	再生中に、押す

とび越し（スキップ）

▶▶|（進む） |◀◀（戻る）	押す

- |◀◀ を押すと、1 つ前の曲の頭から演奏します。

パソコンから離れていたり、電波の状態によって音が途切れたり雑音が入る場合は・・・

❶ **パソコンの「Bluetooth 設定」を開く（☞18 ページ）**

❷ SH-FX570R **を右クリックしてメニューから「詳細」を選択する**

「SH-FX570R の詳細」ダイアログが開きます。

❸ **「音質」のところで「標準」を選択する。**

- 「自動」および「低音質」を設定したときの動作の保証はしていません。
- お買い上げ時は「高音質」に設定されています。

音楽が聞こえない場合は・・・

パソコンの音量がミュート、または小さく設定されていませんか。ボリュームコントロールで設定してください。

本書では Windows Media Player での説明をしています。他のアプリケーションでの動作に関しては、保証していません。

安全上のご注意 （必ずお守りください）

お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防止するため、必ずお守りいただくことを、次のように説明しています。

表示内容を無視して誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を、次の表示で区分し、説明しています。

警告	この表示の欄は、「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容です。
注意	この表示の欄は、「傷害を負う可能性または物的損害のみが発生する可能性が想定される」内容です。

お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。
（下記は絵表示の一例です。）

	この絵表示は、気をつけていただきたい「注意喚起」内容です。
	このような絵表示は、してはいけない「禁止」内容です。
	この絵表示は、必ず実行していただく「強制」内容です。

警告

分解禁止

分解・改造をしない

機器が故障したり、金属物が入ると、やけどや火災の原因になります。

● 内部の点検や修理は、販売店にご依頼ください。

USB トランスミッターは、乳幼児の手の届かないところに保管する

誤って飲み込むおそれがあります。

● 万一、飲み込んだと思われるときは、すぐに医師にご相談ください。

自動ドア、火災報知器等の自動制御機器の近くで本機および USB トランスミッターを使用しない
本機および USB トランスミッターからの電波が自動制御機器に影響を及ぼすことがあり、誤動作による事故の原因となります。

病院内や医療用電気機器のある場所で本機および USB トランスミッターを使用しない
本機および USB トランスミッターからの電波が医療用電気機器に影響を及ぼすことがあり、誤動作による事故の原因となります。

心臓ペースメーカーを装着している方は装着部から 22 cm 以内で本機および USB トランスミッターを使用しない
本機および USB トランスミッターからの電波がペースメーカーの作動に影響を与える場合があります。

⚠注意

強い衝撃を与えたり、投げつけたりしない
取り扱いを誤ると、火災・感電の原因になります。

異常に温度が高くなるところに置かない
特に真夏の車中、車のトランクの中は、想像以上に高温（約60 ℃以上）になります。本機および USB トランスミッターを絶対に放置しないでください。機器表面や内部部品が劣化するほか、火災の原因になることがあります。

- Bluetooth® は、The Bluetooth SIG, Inc. の登録商標であり、ライセンスに基づき使用しております。
- 「着うた®」「着うたフル®」は株式会社ソニー・ミュージックエンタテインメントの登録商標です。
- 「FOMA」「FOMA」ロゴ「ｉアプリ」「ｉモーション」は NTT ドコモの商標または登録商標です。
- Microsoft とそのロゴ、Windows、Windows Media および Windows Vista は米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- IBM および PC/AT は米国 International Business Machines Corporation の登録商標です。
- Macintosh は米国 Apple Inc. の商標です。
- その他、本文で記載されている各種名称、会社名、商品名などは各社の商標または登録商標です。なお、本文中では TM、® マークは一部明記していません。

故障かな !?

修理を依頼する前に、この表で症状をお確かめください。なお、これらの処置をしても直らない場合や、この表以外の症状は、お買い上げの販売店にご相談ください。

症状	確認事項
音が聞こえない 音が聞こえにくい 雑音がする 音が途切れる	● 接続機器の D-snap port 端子に奥まで入っていますか。 ● 本機の D-snap port 端子が汚れていませんか。 ● 携帯電話の影響で雑音が入る場合があります。 ● 携帯電話と初回通信接続したとき、曲の頭が少し切れる場合があります。 ● 携帯電話の仕様や設定により、携帯電話操作時に音が途切れる場合があります。 ● ワイヤレス通信に不具合があります。 ● 本機以外の Bluetooth 対応機器を使用していませんか。同時に使用しないでください。 ● 他のアプリケーションを動作させている、CD ドライブなどから音楽を再生させているなど、パソコンの動作状態によっては音が途切れる場合があります。(**SH-FX570K** のみ) ● パソコンの音量がミュート、または小さく設定されていませんか。ボリュームコントロールで設定してください。(**SH-FX570K** のみ) ● パソコンが省電力モードになっていませんか。(**SH-FX570K** のみ)
機器登録 (ペアリング) できない	本機を機器登録モードにしてから 5 分以上経過していませんか。5 分以上経過すると、自動的に解除になります。
機器登録済みなのに、接続できない	● 本機では Bluetooth 対応機器を 4 台まで登録できますが、5 台目以降は古いものから消去します。もう一度、機器登録してください。 ● ペアリング待機状態中に PAIRING ボタンを長時間押したままにすると登録機器が消去されます。もう一度、機器登録してください。 ● パソコンと携帯電話にオーディオサービスで機器登録済みの場合、接続先の切換をするときはパソコンあるいは携帯電話側で再度接続しなおしてください。(**SH-FX570K** のみ)
通信ランプが点灯しているのに音楽が再生されない	● 一時停止または停止状態ではありませんか。 ● パソコンの音量がミュート、または小さく設定されていませんか。ボリュームコントロールで設定してください。(**SH-FX570K** のみ)
音楽再生中に、音が聞こえなくなった	メールやメッセージ（R ／ F）を受信したり、電話着信したりしていませんか。携帯電話をお確かめください。
機器登録済みなのに、パソコンとの接続に失敗する (**SH-FX570K** のみ)	● パソコンが他のデバイスと接続済みではありませんか。 ● 機器登録を削除し、パソコンを再起動させて、再度機器登録してください。

接続機器のボタンを押しても反応が遅い (**SH-FX570K** のみ)	パソコンの動作状態によっては、反応が遅くなることがあります。
接続機器から Windows Media Player を操作できない (**SH-FX570K** のみ)	本機は Windows Media Player 7.1 以降に対応しています。
接続機器から Windows Media Player を終了できない (**SH-FX570K** のみ)	接続機器から Windows Media Player を終了することができません。 パソコン上で操作して、終了してください。
音楽は再生できるが接続機器から操作ができない (**SH-FX570K** のみ)	● 本機は Windows Media Player 7.1 以降に対応しています。 ● パソコン上で Bluetooth 設定の「AV リモートコントロールサービス」が OFF になっていませんか。
Windows のエラーメッセージが表示される **パソコンの動作が不安定になる** (**SH-FX570K** のみ)	以下の操作を行わないでください。動作が不安定になる場合があります。 －通信接続中にトランスミッターを抜く。 －通信接続中に Bluetooth 設定画面のオプションまたはタスクバーの Bluetooth アイコンを右クリックして「Bluetooth オフ」を選択する。 －通信接続中にタスクバーの Bluetooth アイコンを左クリックから切断する。

ワイヤレス通信できないときや、切断されるときは、以下のことをお確かめください

- 接続機器の電源スイッチが ON になっていて、セレクターが D-snap port になっていますか。(☞9 ページ)
- ワイヤレス使用可能距離の約 10 m を越えていませんか。また、間に障害物があったり、他機器からの影響を受けていませんか。(☞5 ページ)
- 携帯電話、トランスミッター※との機器登録はしましたか。(☞10、16 ページ)
- 登録済み携帯電話、トランスミッター※と本機をオーディオサービスで接続していますか。(☞11、19 ページ)

※ **SH-FX570K** のみ

保証とアフターサービス（よくお読みください）

修理・お取り扱い・お手入れ などのご相談は…
まず、お買い上げの販売店へ お申し付けください。

転居や贈答品などでお困りの場合は…

- 修理は、サービス会社・販売会社の「修理ご相談窓口」へ！
- 使いかた・お買い物などのお問い合わせは、「お客様ご相談センター」へ！

■保証書（別添付）

お買い上げ日・販売店名などの記入を必ず確かめ、お買い上げの販売店からお受け取りください。よくお読みのあと、保管してください。

保証期間：お買い上げ日から本体 1 年間（「本体」にはソフトウェアの内容は含みません）

■補修用性能部品の保有期間

当社は、このワイヤレス オーディオキットの補修用性能部品を、製造打ち切り後 8 年保有しています。
注）補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

修理を依頼されるとき

26 ページの「故障かな !?」の表に従ってご確認のあと、直らないときは、お買い上げの販売店へご連絡ください。

- **保証期間中は**
  保証書の規定に従ってお買い上げの販売店が修理をさせていただきますので、恐れ入りますが、製品に保証書を添えてご持参ください。
- **保証期間を過ぎているときは**
  修理すれば使用できる製品については、ご要望により修理させていただきます。下記修理料金の仕組みをご参照のうえ、ご相談ください。
- **修理料金の仕組み**
  修理料金は、技術料・部品代・出張料などで構成されています。
  技術料は、診断・故障個所の修理および部品交換・調整・修理完了時の点検などの作業にかかる費用です。
  部品代は、修理に使用した部品および補助材料代です。
  出張料は、製品のある場所へ技術者を派遣する場合の費用です。

ご連絡いただきたい内容			
製品名	ワイヤレス オーディオキット	お買い上げ日	年　月　日
品番		故障の状況	できるだけ具体的に

「よくあるご質問」「メールでのお問い合わせ」などはホームページをご活用ください。
http://panasonic.jp/support/

使いかた・お買い物などのご相談

ナショナル パナソニック
お客様ご相談センター

365日／受付9時〜20時

電話 フリーダイヤル **0120-878-365**（パナは 365日）

■携帯電話・PHSでのご利用は… **06-6907-1187**

FAX フリーダイヤル **0120-878-236**

Help desk for foreign residents in Japan
Tokyo (03) 3256 - 5444 **Osaka** (06) 6645 - 8787
Open : 9:00 - 17:30
(closed on Saturdays / Sundays / national holidays)

修理に関するご相談

ナショナル パナソニック
修理ご相談窓口

ナビダイヤル（全国共通番号）

0570-087-087

- 呼出音の前にNTTより通話料金の目安をお知らせします。
- 携帯電話・PHS等からは最寄りの修理ご相談窓口に直接おかけください。
- 最寄りの修理ご相談窓口は、次ページをご覧ください。

ご相談窓口における個人情報のお取り扱い

松下電器産業株式会社およびその関係会社は、お客様の個人情報やご相談内容を、ご相談への対応や修理、その確認などのために利用し、その記録を残すことがあります。また、個人情報を適切に管理し、修理業務等を委託する場合や正当な理由がある場合を除き、第三者に提供しません。お問い合わせは、ご相談された窓口にご連絡ください。

保証とアフターサービス（よくお読みください）

※電話番号をよくお確かめの上、おかけください。

ナショナル パナソニック 修理ご相談窓口

北海道地区

地域	所在地	電話
札幌	札幌市厚別区厚別南2丁目17-7	☎ (011)894-1251
旭川	旭川市2条通16丁目1166	☎ (0166)22-3011
帯広	帯広市西20条北2丁目23-3	☎ (0155)33-8477
函館	函館市西桔梗589番地241（函館流通卸センター内）	☎ (0138)48-6631

東北地区

地域	所在地	電話
青森	青森市大字浜田字豊田364	☎ (017)775-0326
秋田	秋田市東通り2丁目1-7	☎ (018)831-7833
岩手	盛岡市厨川5丁目1-43	☎ (019)645-6130
宮城	仙台市宮城野区扇町7-4-18	☎ (022)387-1117
山形	山形市平清水1丁目1-75	☎ (023)641-8100
福島	郡山市亀田1丁目51-15	☎ (024)991-9308

首都圏地区

地域	所在地	電話
栃木	宇都宮市上戸祭3丁目3-19	☎ (028)689-2555
群馬	前橋市箱田町325-1	☎ (027)254-2075
茨城	つくば市筑穂3丁目15-3	☎ (029)864-8756
埼玉	桶川市赤堀2丁目4-2	☎ (048)728-8960
千葉	千葉市中央区末広5丁目9-5	☎ (043)208-6034
東京	東京都世田谷区宮坂2丁目26-17	☎ (03)5477-9780
山梨	甲府市宝1丁目4-13	☎ (055)222-5171
神奈川	横浜市港南区日野5丁目3-16	☎ (045)847-9720
新潟	新潟市東明1丁目8-14	☎ (025)286-0171

中部地区

地域	所在地	電話
石川	金沢市横川3丁目20	☎ (076)280-6608
富山	富山市根塚町1丁目1-4	☎ (076)424-2549
福井	福井市問屋町2丁目14	☎ (0776)25-5001
長野	松本市寿北7丁目3-11	☎ (0263)86-9209
静岡	静岡市葵区千代田7丁目7-5	☎ (054)287-9000
愛知	名古屋市瑞穂区塩入町8-10	☎ (052)819-0225
岐阜	岐阜市中鶉4丁目42	☎ (058)278-6720
高山	高山市花岡町3丁目82	☎ (0577)33-0613
三重	津市久居野村町字山神421	☎ (059)255-1380

近畿地区

地域	所在地	電話
滋賀	栗東市霊仙寺1丁目1-48	☎ (077)582-5021
京都	京都市伏見区竹田中川原町71-4	☎ (075)646-2123
大阪	大阪市北区本庄西1丁目1-7	☎ (06)6359-6225
奈良	大和郡山市筒井町800番地	☎ (0743)59-2770
和歌山	和歌山市中島499-1	☎ (073)475-2984
兵庫	神戸市中央区琴ノ緒町3丁目2-6	☎ (078)272-6645

中国地区

地域	所在地	電話
鳥取	鳥取市安長295-1	☎ (0857)26-9695
米子	米子市米原4丁目2-33	☎ (0859)34-2129
松江	松江市平成町182番地14	☎ (0852)23-1128
出雲	出雲市渡橋町416	☎ (0853)21-3133
浜田	浜田市下府町327-93	☎ (0855)22-6629
岡山	岡山市田中138-110	☎ (086)242-6236
広島	広島市西区南観音8丁目13-20	☎ (082)295-5011
山口	山口市小郡下郷220-1	☎ (083)973-2720

四国地区

地域	所在地	電話
香川	高松市勅使町152-2	☎ (087)868-6388
徳島	徳島市沖浜2丁目36	☎ (088)624-0253
高知	高知市仲田町2-16	☎ (088)834-3142
愛媛	愛媛県伊予郡砥部町八倉75-1	☎ (089)905-7544

九州地区

地域	所在地	電話
福岡	春日市春日公園3丁目48	☎ (092)593-9036
佐賀	佐賀市鍋島町大字八戸字上深町3044	☎ (0952)26-9151
長崎	長崎市東町1949-1	☎ (095)830-1658
大分	大分市萩原4丁目8-35	☎ (097)556-3815
宮崎	宮崎市本郷北方字草葉2099-2	☎ (0985)63-1213
熊本	熊本市健軍本町12-3	☎ (096)367-6067
天草	本渡市港町18-11	☎ (0969)22-3125
鹿児島	鹿児島市与次郎1丁目5-33	☎ (099)250-5657
大島	名瀬市長浜町10-1	☎ (0997)53-5101

沖縄地区

地域	所在地	電話
沖縄	浦添市城間4丁目23-11	☎ (098)877-1207

所在地、電話番号が変更になることがありますので、あらかじめご了承ください。

0906

主な仕様

■ SH-FX570R

電源： DC 5 V

Bluetooth バージョン： Ver.1.2 準拠

送信出力： Class 2（2.5 mW）

見通し通信距離※： 約 10 m

Bluetooth 搭載プロファイル： A2DP、AVRCP

通信方式： 2.4 GHz 帯 FH-SS（周波数ホッピングスペクトラム拡散方式）

使用温度範囲： 0 ℃～ 40 ℃

最大外形寸法（幅×高さ×奥行）： 86 mm × 33.5 mm × 9.3 mm

質量： 約 18.5 g

SH-FX570K のみ

■ SH-FX550T

電源： DC 5 V（USB）

Bluetooth バージョン： Ver.1.2、Ver.2.0 ＋ EDR 準拠

送信出力： Class 2（2.5 mW）

見通し通信距離※： 約 10 m

Bluetooth 搭載プロファイル： A2DP、AVRCP

通信方式： 2.4 GHz 帯 FH-SS（周波数ホッピングスペクトラム拡散方式）

使用温度範囲： 10 ℃～ 35 ℃

最大外形寸法（幅×高さ×奥行）： 55.5 mm × 8.8 mm × 17.6 mm

質量： 約 6 g

※ 見通し通信距離は、ノートパソコンに接続した USB トランスミッターを使用し、温度 25 ℃、高さ 1.2 m、USB トランスミッターとワイヤレスオーディオレシーバーを見通し状態で測定したものであり、間に人が入るなど使用条件により異なる場合があります。

この仕様は、性能向上のため変更することがあります。

ーこのマークがある場合はー

ヨーロッパ連合以外の国の廃棄処分に関する情報

このシンボルマークは EU 域内でのみ有効です。
製品を廃棄する場合には、最寄りの市町村窓口、または販売店で、
正しい廃棄方法をお問い合わせください。

便利メモ（おぼえのため、記入されると便利です）

お買い上げ日	年　　月　　日	品　番	
販売店名	電話（　　）　—		

松下電器産業株式会社　ネットワーク事業グループ
〒 571-8504　大阪府門真市松生町 1 番 15 号

© 2007 Matsushita Electric Industrial Co., Ltd.
All Rights Reserved.

RQT8940-S
F0107MG0